

所 属	環境生活部 地球環境課		
担当(係)名	自然保護・公園担当	内線	2701

新 自然環境保全ボランティアパトロール体制の構築

<ふるさとぎふ再生基金事業>

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,936	繰入金 1,936	印刷製本 420 (ハンドブック印刷)
(前年度 0)		委託料 1,437 (人材育成等)

2 背景・現状

県内には、将来の県民のために保全すべき優れた景観や貴重な生態系を有するエリアが多数存在しているが、残念ながらそうした地域において、植物の盗掘、定められた場所以外への立入、ゴミ捨てなどの行為が見られている。

県の自然保護員(13人)や市町村担当課等による不定期なパトロールは実施されているが、天生県立自然公園などの特定の場所を除き、地域と連携し組織化された定期パトロールができていない現状にある。

3 事業目的

自然公園等における貴重な動植物や湿原等の保全を図り、次の世代に伝えていくためには、個々の対象地域における行政と民間の協働による体制づくりが必要であるととも、それを継続していくための「ボランティア＝コア人材」の育成が課題であり、本事業(3ヶ年継続予定)の実施により、その解決を図る。

4 事業概要

<人材育成> ...民間主導：専門的知識・能力を有する者へ委託

地域の自然について正しい知識を持ち、パトロールでの適切な対処ができるボランティアのコア人材を3年間で90人(30人×3年)育成する。

事業終了時に60人程度の定着(12人×5ヶ所)を目標とする。

<体制構築> ...行政主導：地元関係機関による協議会の立ち上げを進める

育成された人材を活用し、飛騨地域を中心とする緊急性の高いエリアにおいて、地元市町村等との連携によるパトロール体制の構築を図る。

<候補エリア>

小鳥湿原(高山市清見町)、宇津江四十八滝(高山市国府町)、日和田高原(高山市高根町)、大白川園地(大野郡白川村)など

(款)4 衛生費 (項)6 環境管理費 (目)(2)環境管理推進費 (明細書事業名) 自然環境保全対策費 自然環境保全ボランティアパトロール体制構築事業費
